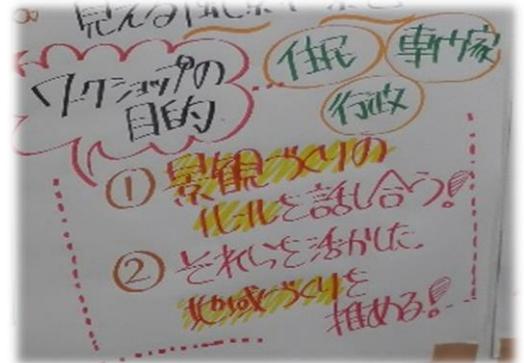


みんなでつくろう日和山のまち並み 第1回ワークショップ かわら版

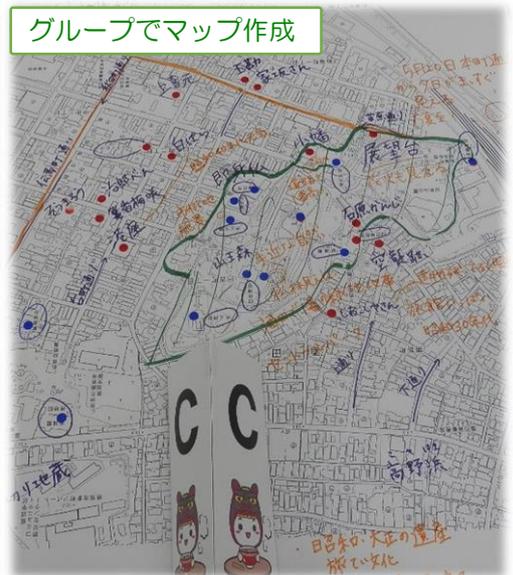
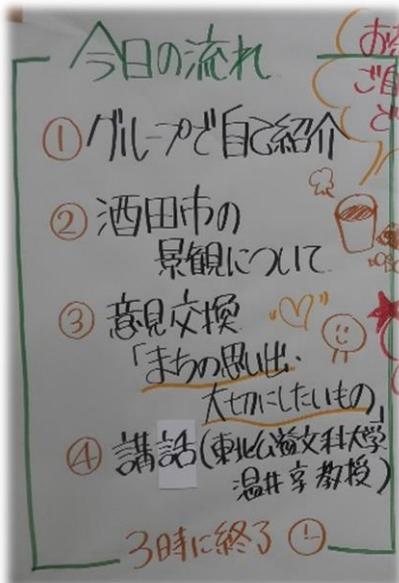
事務局 (発行:平成28年5月11日)
酒田市都市デザイン課都市計画係
電話:26-5746/FAX:26-6482
メール:toshi-design@city.sakata.lg.jp

日和山周辺には、山王くらぶや相馬樓、町屋など酒田の歴史文化を感じさせる建物が点在し、酒田の景観の大変重要な地域であります。

これらの建物を保全し、これらと調和の取れたまち並みを作っていくための話し合いの場として平成28年4月17日(日)総合文化センターで第1回ワークショップを開催し、約30名の皆さんにご参加いただきました。



進行役にまちづくりファシリテーター(稲村理紗さん)を迎え、和やかな雰囲気の中、小グループに分かれて【まちの思い出、大切にしたいもの】をテーマに意見交換し、昔のまち並みや好きな場所、お勧めポイントなどを自由に白地図に書き込みました。



第2回 開催案内

【雨天決行】

日時:平成28年6月11日(土)
午後1時~4時30分
場所:総合文化センター 410号室
(酒田市中心西町2-59 Tel.24-2991)
テーマ:まち歩き、マップ作成
※参加希望者は、6月2日まで事務局にお申し込みください。2回目からの参加も大歓迎です!

なつかしい写真の展示コーナー



【ワークショップの目的】

～日和山周辺地域で

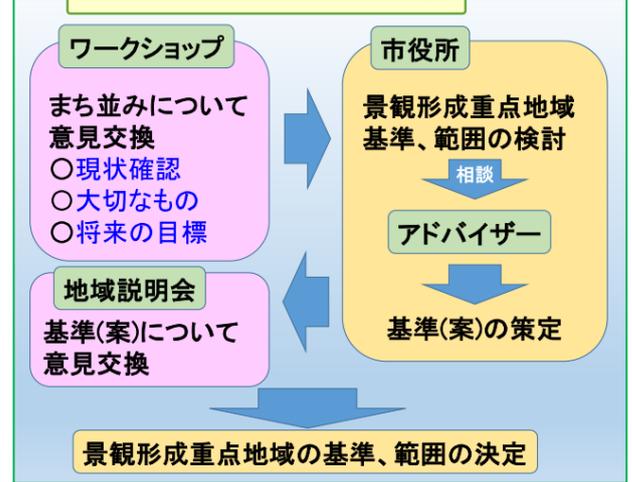
景観形成重点地域の指定を目指す～

- 住宅や塀を建てる時の景観形成基準（ルール）について話し合う
- 地域住民によるまち並み景観づくりを推進する

景観形成重点地域は、どんなところ？

- 酒田の景観で重要な地域
- 特に力を入れて景観づくりを取組む地域
※現在、山居倉庫周辺地区、松山歴史公園周辺地区の2ヶ所

【ワークショップの流れ】



【グループワーク】

グループに別れ、地域のことを話し合い、地図に書き込みました。



各グループで話し合ったこと

- 昔の小路には、物語があるので残していきたい。
- 昭和レトロのような建物があるので広めていきたい。
- 日和山公園のひょうたん池周辺では、何種類かのアゲハチョウを見かける。
- 酒田祭りのとき、旧割烹小幡から眺める夜景と人ごみが好きだ。
- 遠景から見える日和山の姿も悪くない。
- 古い家が解体され、空き地ができてきた。
- 昔は子供がいっぱい歩いていたが、今は歩いている人がほとんどいない。
- 昔ながらの酒田のよいお家、雰囲気を残したい。
- 港町の特徴を持っている。
- 学生や家族で住める住宅があるとよい。
- 文学の散歩道には、見るものが沢山ある。
- 日枝神社に上がる石段にある枝垂桜が酒田で一番。

などなど・・・

ワークショップ開催予定

第1回 4月17日(日) 午後1時～総合文化センター

【まちの思い出、大切にしたいもの】

<大勢の参加ありがとうございました>

第2回 6月11日(土)午後1時～総合文化センター

【まち歩き、マップ作成】

第3回 7月23日(土)午後1時～総合文化センター

【将来のまち並みの目標】

第4回 9月24日(土)午後1時～総合文化センター

【目標に向かって取り組むこと】

※都合の良い回にお申し込みください。

【講話】

東北公益文科大学教授（温井亨さん）

【これからのまちづくり】について

